

交通死亡事故抑止対策 インフォメーション

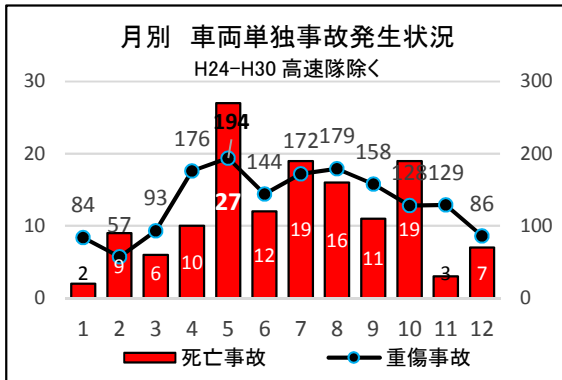
県内で発生した交通死亡・重傷事故の過去7年間(平成24年～平成30年)のデータを活用して、各月の死亡・重傷事故の特徴や死亡事故多発日・時間帯などについて分析した結果です。

5月3日～6日は、「**死亡事故警戒強化期間**」です。

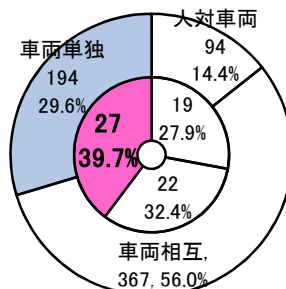
○ 5月の死亡・重傷事故の特徴について

『**車両単独**』事故の多発月！**二輪車**や**農耕車**、**自転車**の『**高齢者**』対策を！

過去7年間のデータを分析すると、5月は「車両単独」事故による「死亡・重傷事故」が1年で最も多く発生していました。5月に発生した「死亡・重傷事故」の事故類型別割合では、「重傷事故」では「車両相互」が367件で最も大きい(56.0%)のに対し、「死亡事故」では「車両単独」が最も大きく(27件:39.7%)なっています。「死亡事故」の27件の内訳ですが、年齢別で見ると65歳以上の高齢者が18件(18/27件:66.7%)、そのうち10件が二輪車、農耕車、自転車でした。



・5月の事故類別 死亡重傷事故 ・車両単独事故の内訳
 外円: 重傷事故、内円: 死亡事故



状態別	20代	30代	40代	50代	60代	65~	75~	計
乗用車	1	1		1	1	2	4	10
軽貨物車			1	1			2	4
農耕車							3	3
小型二輪	1		1			1	1	4
原付			1				1	2
自転車						3	1	4
計	2	1	3	2	1	6	12	27

事故類型による「**多発時間帯**」の違いに注意！

